

科目コード	R6046	科目名	臨床地域実習				
履修区分	必修	開講期	2年後期	実習期間	5日間	単位数	1単位
担当者	甲田 宗嗣・伊藤 祥史・藤村 昌彦・平岩 和美・馬屋原 康高・上川 紀道・石倉 英樹・猪村 剛史・江越 正次朗・谷岡 龍一・藤井 紀文・田邊 淳平・中川 敬汰						
授業の概要	地域リハビリテーションを実践する施設における理学療法士の役割を学ぶ。通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等での他職種協業について理解を深め、対象者の生活を支援する視点を身につける。						
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						
	修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						
	高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						
	地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						
到達目標	DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
	臨床見学実習の行動目標に加え、以下の行動目標を設定する。 対象者とご家族に適切に対応できる。 臨床地域実習における自己成長のための具体的な目標を立てることができる。 介護保険制度について理解し、サービス利用までの流れを説明できる。 他職種の役割や、実習施設の地域における役割を説明できる。 ケアマネジメントについて説明できる。 在宅サービスの種類とその意義や目的を説明できる。 日常生活活動（動作）・参加の目標設定が適切にできる。 住宅改修案や福祉用具のコーディネートを理解できる。						
実習先行要件	なし						
履修上の注意事項	服装・挨拶・言葉遣いをはじめ、時間を守るなどの実習上のルールを遵守すること。 なお実習開始前オリエンテーションを実施する。日程は追って連絡する。						
実習スケジュール	5日間（1週間）にわたり病院・施設の通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション部門にて実習を行う。 事前・事後学習時間は延べ5時間であり、実習指導者が実習の進行状況に合わせて学習内容を指示する。						
成績評価方法	臨床実習要項の評価表（ループリック評価）に基づき評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教員からのメッセージ	・実習指導者への報告・連絡・相談を適宜行ってください。 ・体調不良時は、自己判断せず、実習指導者と実習施設担当教員に対応を相談ください。 ・実習中困ったことがあれば、早めに実習施設担当またはチューター等に連絡してください。						
教員との連絡方法	問い合わせは、臨床地域実習担当教員（平岩hiraiwa@hcu.ac.jp、猪村imura@hcu.ac.jp）まで連絡してください。 なお、実習施設ごとに学内の担当教員が配置されます。 各自が施設担当教員を確認し、実習中の連絡方法について事前に打ち合わせてください。						
実務経験のある教員	本科目は、実務経験のある教員および実習施設指導者を中心とした実践的教育から構成される科目です。						